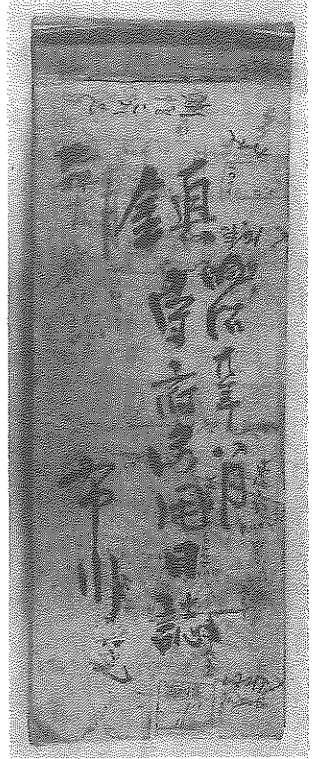


ふるさと宅配便

「布川家文書」など4件

舞鶴市指定文化財に 地域の歴史再評価



布川家に伝わる「鎮守府御用日誌」

舞鶴市は、2021年に開庁120年を迎えた旧海軍舞鶴鎮守府にまつわる「布川家文書」「井上奥本家文書」「中舞鶴関連図資料」「伊藤鶴吉遺品」の4件を新たに市の指定文化財にすると発表された。かつて鎮守府が置かれた中舞鶴地区に焦点を当てて地域の歴史を掘り起こし、再評価したとしている。市指定文化財は計250件となった。

艦隊の後方を統括する舞鶴鎮守府は1901（明治34）年に開庁した。初代司令長官は



舞鶴市指定文化財となった伊藤鶴吉の遺品

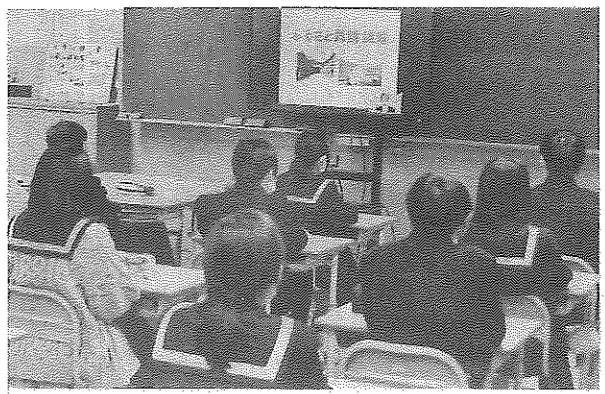
東郷平八郎。「布川家文書」は、余部下村（現在の舞鶴市余部下、海上自衛隊舞鶴地方総監部の所在地）の庄屋を務めた布川家に代々伝えられたもので、計3372点に上る。1887（明治20）年に舞鶴に鎮守府設置が内定すると、視察に訪れた当時の海軍大臣だった西郷従道の宿泊所・休憩所となったことが「鎮守府御用日誌」などから分かった。また、鎮守府開庁で軍港地の買い上げが進み、移転地の取り調べや領収書・契約書などが多数現存している。

1923（大正12）年のワシントン軍縮条約発効で、舞鶴鎮守府が要港部に格下げになった際は、当時の布川家当主が海軍大臣らに、諸物品買い上げ、

「軍縮救済嘆願書」を出している。布川家は舞鶴鎮守府の基盤整備に協力しており、大きく変貌していった舞鶴地域の経緯をよく伝えると評価された。

「井上奥本家文書」は、余部下村（現在の舞鶴市余部下）の村役人（奥本は屋号）に伝わるもので、計3596点。1896（明治29）年から記された「軍港市街記」は舞鶴鎮守府設置に伴う土木請負、諸物品買い上げ、田辺藩の出身で、海図を製作する水路局の発足メンバーだった。1889（明治22）年、舞鶴鎮守府の土地買収金の住民への支払いが滞った時、対応に尽力した。日清戦争の功労で男爵に任じられた。

舞鶴の良さを市長が講義 オンラインで7中学に



「ふるさと舞鶴講義」を聞く生徒たち

舞鶴市の多々見良三市長は10日、オンラインで市内の白系中など7中学校を結び、「ふるさと舞鶴講義」をした。

市長は「舞鶴は海や山がある自然豊かな地だ」と強調。海上自衛隊舞鶴地方総監部や第8管区海上保安本部もある全国でも珍しい地域であることを紹介し、「自分が将来何になりたいのか、志を持って進んでほしい。人のため社会のために働く人材になってほしい」と呼びかけた。

西舞鶴道路

境谷トンネル貫通

上り線 国道27号 渋滞緩和に



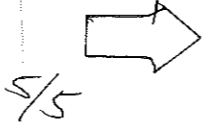
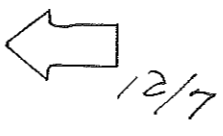
貫通した境谷トンネル 舞鶴市境谷で

舞鶴市の国道27号（西舞鶴道路）の境谷トンネル上り線（仮称）が2日、貫通した。西舞鶴道路では最初のトンネル。工事を手がけている国土交通省福知山河川国道事務所によると、西舞鶴道路の供用開始時期は未定だが、舞鶴市内の国道27号の交通渋滞の緩和をはじめ、舞鶴港、舞鶴若狭自動車道舞鶴西ICとの物流を円滑にし、利便性を高めるといふ。

【塩田敏夫】

西舞鶴道路は舞鶴市上安―京田間の全長4.9キロ。舞鶴市の国道27号は、大手交差点と大手千日前交差点で渋滞が慢性化しており、バイパス道路として2016年度に着工した。総事業費は400億円。

貫通した境谷トンネルの着工は未定という。



新トンネル1月掘削開始

舞鶴・白鳥街道 渋滞解消へ期待



新白鳥トンネルの完成予想イメージ 舞鶴市提供

舞鶴市は19日、東西市街地を最短距離で結ぶ府道「白鳥街道」の新白鳥トンネル（仮称）完成した現在の白鳥ト

ンネル付近の区間では慢性的な渋滞が発生し、狭いトンネル内を歩行者や自転車も通るため危険性が指摘されていた。白鳥トンネルと並行して建設する新白鳥トンネルは、長さ330メートル、幅員10メートル、幅員2.5メートルの歩道も整備する。23年6月に貫通予定で、渋滞解消と歩行者の安全確保が期待されている。

府が14年度から新白鳥トンネル建設に向けた事業（事業区間1.4キロ）に着手し、用地買収を進めていた。総事業費は29億円。

新白鳥トンネル開通後、いったん全ての車

線を新トンネルに切り替える。そのうえで白鳥トンネルの拡幅工事に着手し、現在の6.8メートルの幅員を7.5メートルに広げる。

白鳥トンネルは拡幅工事完成後は西行き、新白鳥トンネルは東行き、それぞれ専用車線となる。この結果、両トンネルで総幅員17.5メートルとなり、4車線化される。市によると、新白鳥トンネルの供用開始や4車線化による全線開通時期は未定という。

舞鶴市長らに勲章授与 日本とウズベク友好に功績

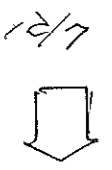
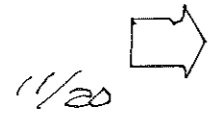
舞鶴市は6日、ウズベキスタンから「独立30周年勲章」が多々見良三市長や筑波大の永田恭介学長ら7人に贈られたと発表した一写真。両国の友好に功績があったとされる人が対象で、5日に東京で授与式があった。

旧ソ連に属していたウズベキスタンには、第二次世界大戦での日本の敗戦後、約2万5000人の日本人が抑留された。これが縁となり、「引き揚げの町」の舞鶴市は長年交流を続けている。

2021年にあった東京オリンピックでウズベキスタンの柔道選手団が市内で事前合宿をした。



舞鶴市長らに勲章授与式の様子



府全体がキャンパス

「府全域をキャンパスとしたい」とあいさつする府立大の塚本康浩学長（左端）＝舞鶴市北吸の市政記念館で



府立大は府立西舞鶴、東舞鶴両高と私立日星高の舞鶴市内3校と高大連携協定を結んだ。生徒に学習機会を提供するなどの交流を通じ、魅力ある大学・高校づくりを進めるという。【塩田敏夫】

府立大と西舞鶴、東舞鶴、日星高

府立大は2021年10月、舞鶴市北吸の舞鶴赤れんがパークに北部サテライトオフィスを開設した。府域全体のキャンパス化を目指し、高大連携とともに産業振興支援などの地域貢献の拠点とするという。

協定では、教育上の諸問題に対応する情報交換など教職員相互の研修・交流促進のほか、府立大による講演会、実験実習、公開講座などの学習機会を3校に▽

3校の教育現場を体験する場を府立大に▽練習試合や合同発表会など課外活動の交流の機会を相互に▽3校への府立大の情報発信機会――をそれぞれ提供するなどを盛り込んだ。

舞鶴市の市政記念館で1月18日であった協定式では、府立大の塚本康浩学長が「南は精華町から北は舞鶴市まで府全体をキャンパスとし、フィールドワークをしたい。府北部の高校からががんがんきてもらえる大学となり、高大の連携で京都発、日本初の素晴らしい人間が出てくることを期待している」と目標を掲げた。

これに対し、西舞鶴高の松下茂男校長は「府立大とフィールドワークを一緒にし、高校でのインターンシップにも協力していきたい」と相互交流の成果に期待の言葉を述べた。

東舞鶴高の塩尻徹校長は「就職する生徒もたくさんおり、地元を支える基盤となっている。高大連携でさまざまな学びの機会になることを期待しています」とし、日星高の出野健賢校長は「地元で役立ち、地元で生きる人材育成が大きな目標。協定で進路の幅が広がることを期待しています」と抱負を述べた。

現場体験や課外学習へ協定



名前を呼ばれ、立ち上がる入隊予定者たち。＝舞鶴市役所で

市役所表敬で抱負「ネット」に感謝

舞鶴市出身で、プロ野球広島東洋カープに入団が決まった田村俊介さん（18）が29日、同市役所を表敬訪問し、「これから活躍し、（地元）へ恩返ししたい。最終的にメジャー（米大リーグ）を目指したい」と抱負を力強く語った。

建設業の父俊之さん（54）、母安代さん（48）とともに多々見良三市長と面談した田村さんは最初に「田村ネット」に触れ、市に感謝の言葉を述べた。

市立中舞鶴小5年の時に場外ホームランを連発。当時、同小には高さ7メートルの防球ネットが張られていたが、田村さんの打球はライナーで楽々と越えていった。「規格外」の野球選手の出現で、市は400万円をかけて高さ12メートルまでかさ上げした。地元ではこの防球ネットを今でも「田村ネット」と呼び、語り継がれている。

田村さんは今夏の甲子園で愛知・愛工大名電高のキャプテン、投手として出場。1回戦で先発登板し、右中間に特大のホームランを放った。「田村ネットのおかげで力強い打撃ができ、甲子園でのホームランにつながりました」と語った。

2022年1月6日からカープの寮に入り、新人合同合宿に臨む。2月からはキャンプが始まる。投打の「二刀流」でプロ野球で活躍したいとの希望を語った。

多々見市長は「すごい人が生まれるのはその町のステータス。いい環境に育ったからだ」と述べ、「舞鶴出身の田村」と叫ぶ選手になってほしい」と激励した。

入隊予定者、市長と懇談

舞鶴この春自衛隊・防衛大へ海上、陸上両自衛隊。戦後77年が経過し、平和は当たり前とかなる舞鶴市出身者ら13人が2月25日、同市役所を訪れ、多々見良三市長と懇談した。市によると、自衛隊の入隊予定者の市長の表敬訪問は初めて。自衛隊舞鶴同志会の尾関善之会長らが同席した。

ロシアがウクライナに侵攻した国際情勢などに触れながら、市長は「国防という崇高な任務に就かれるみなさんに心から敬意を表す」と述べた。

報道関係者には冒頭の市長あいさつと入隊者紹介だけ公開され、懇談は非公開だった。

舞鶴港に新コンテナ航路

神戸港で世界各地と接続

舞鶴市の京都舞鶴港に新しい定期コンテナ航路が開設され、第1便のコンテナ船「だいこく」（749総トン）が15日朝、寄港した。毎週一回、火曜に寄港し、神戸港発着の国際航路と接続する。京都舞鶴港は現在、韓国・釜山との間で週3便の定期コンテナ航路を持っており、これで計週4便となる。

運航するのは「井本商運」（神戸市）。毎週一回、福井・敦賀から京都舞鶴、鳥取・境の各港を経由し、神戸港にコンテナを運ぶ。神戸港からは「OCL」（本社・香港）が世界の各港と接続する。

京都舞鶴港の国際ふ頭ではこの日、京都舞鶴港振興会主催の歓迎式典があり、理事長の多々見良三舞鶴市長が「この航路で舞鶴は中国、台湾、東南アジア、欧州など世界各地とつ



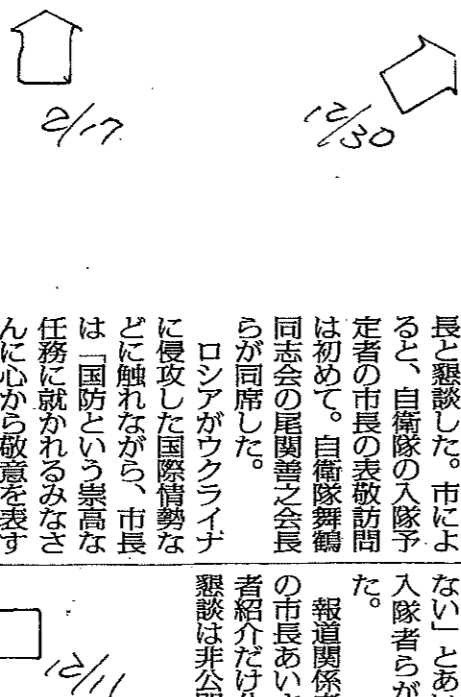
定期コンテナ船「だいこく」の前に立つ井本隆之社長（左から4人目）ら関係者。＝舞鶴市の京都舞鶴港国際ふ頭で

ナ禍でサブライチエーター（供給網）が分断されたとを説明し、今回の定期コンテナ航路開設について「まさに

聴き入る昼休み

西舞鶴高

舞鶴市の西舞鶴高で8日、吹奏楽部の中庭コンサートが開かれた一写真。3年生が部を引退し、1、2年生による新しい挑戦。金管6重奏や金管8重奏などを披露した。ちょうど昼休み時で、教室の窓を開けて多くの生徒が聴き入っていた。【塩田敏夫】



町全体ビジョン示して

舞鶴市議会の一般質問が7日始まり、鴨田秋津議員（市民クラブ）は市が策定した市立地適正化計画の進捗状況をたずねた。JR東・西舞鶴両駅を中心とした区域に都市機能と居住の積極的な誘導を図るものだが、「未だ方向性が示されていない」と指摘。「実行計画を作り、町全体のビジョンを示すべきだ」と求めた。

【塩田敏夫】



市立地適正化計画 市議会で進捗など質問

未・低利用地が広がるJR西舞鶴駅東口―舞鶴市伊佐津で

市立地適正化計画は舞鶴両駅周辺の商店街2018年4月、策定ではアーケードの老朽化が進んでいると進み、財政収入が減少している現状を紹介。「昨年中、持続可能な都市には屋根の一部が市構造への転換を図る、落下したことがあったことを目的とした。舞鶴版コンパクトシティの実現を掲げ、市不足でアーケードの中心部の再構築と町中、管理が困難になっているにぎわいを創出する」としている。

鴨田議員は進捗状況を聞いた上で、①駅がバス乗り場までが遠く、乗り継ぎが不便とされる西舞鶴駅西口の未来像②「にぎわいあふれる新たなライフスタイルの発信拠点」とした西舞鶴駅東口の1万平方メートルの未・低利用の土地の活用③東舞鶴駅周辺の商店街の空き店舗対策―などを質問した。

また、「JR東・西」に基き、「しっかりとコンパクトシティづくりを進める」などと答弁した。

東京五輪ホストタウン功労者 舞鶴の3団体に感謝状



東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン功労者として、ホストタウン舞鶴市民応援団（団長、内藤行雄・市スポーツ協

会長）、日星高（出野健資校長）、南福祉協議会（村尾幸作会長）の舞鶴市内の3団体に丸川珠代担当大臣（当時）から感謝状が贈られた。

舞鶴市はウズベキスタンの柔道選手団の事前合宿の場となった。ホストタウン舞鶴市民応援団は歓迎会の中心のスタッフとなり、日星高チャリダー部は歓迎会で見事なパフォーマンスを披露した。

南福祉協議会は選手団の地域主催の歓迎会を開いた。【塩田敏夫】

舞鶴署→推進委の3人 高架下の落書き消去

奥野さんらは9月14日、同市公文名地区の国道27号の高架下に落書きがあるのを見。市職員らと共同で消去した。奥野さんらは「割れた窓を放置すると被害が一層拡大することを舞鶴署に教えてもらい、早めに落書きを消し防犯に努めました」と話した。

【塩田敏夫】



美しい風景／ロシア娘との交流

舞鶴引揚記念館（舞鶴市平）で企画展「抑留者が見たシベリア」が開かれている。敗戦後、約60万人が旧ソ連のシベリアなどに抑留され、過酷な強制労働で約6万人が死亡したとされるが、企画展では抑留に多方面から光を当てようと抑留者が帰国後に描いた美しいシベリアの風景、陽気なロシア娘との交流の絵画など37点絵具1点を含むを展示した。7月10日まで。

【塩田敏夫】

抑留者の作品展 舞鶴引揚記念館

記念館は、抑留体験者が描いた回想記録画約1300点を収蔵している。今回の企画展では、旧ソ連の人々との交流も含めて多方面からシベリア抑留を考える機会にしたいと願った。食べ物を分け与えてくれる親切なロシアマダムや「コルホーズの女たち」「大地シベリア」「古都イルクーツク」「第二シベリア鉄道の夏」「ナホトカの酒」など。抑留体験者が帰国後に「心に残った風景と人物」を描いた作品群だ。

1300点の中で唯一抑留中に描かれた絵画は、旧ソ連軍からイルクーツクのメーデーを描くよう命じられた安田清一さんの作品。旧ソ連軍から渡されたスケッチブック2冊のうち1冊を絵具とともに奇跡的に日本に持ち帰った。今回はイルクーツクの町とともに、スターリンとレーニンとみられる人物の写真が描かれた絵（資料保存のためレプリカ）を展示した。実物は20日〜5月8日に特別展示する。

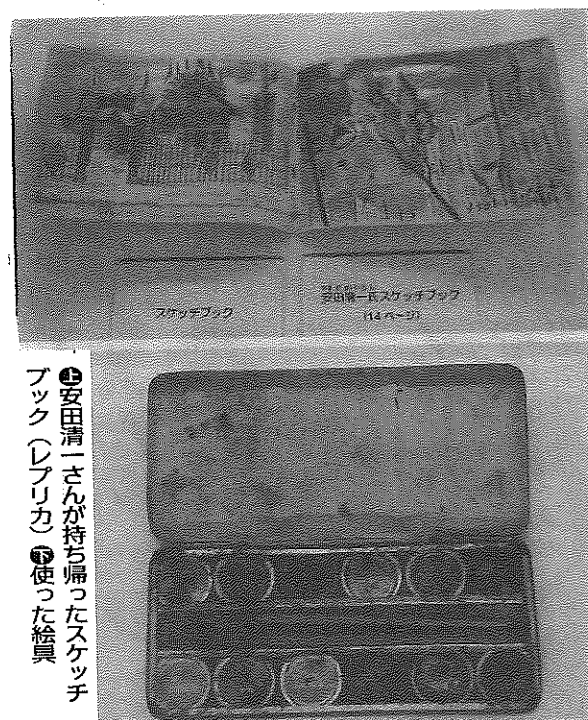
抑留者たちの中には栄養失調で仲間が次々と亡くなる極限状況の中、マッシュアップを手作りして、食事として配られる黒パンをうけ、勝負した者もいたという。わずかな楽しみを見つけてたくましく生き抜いてきた、今回の展示品にも通じる思いが感じられる逸話だ。

開館は午前9時〜午後5時、毎月第3木曜休館。入館料は大人400円など。記念館（0773・68・0836）。

「陽のシベリア」描く



抑留体験者が描いた作品に見入る男性―いずれも舞鶴市平の舞鶴引揚記念館で



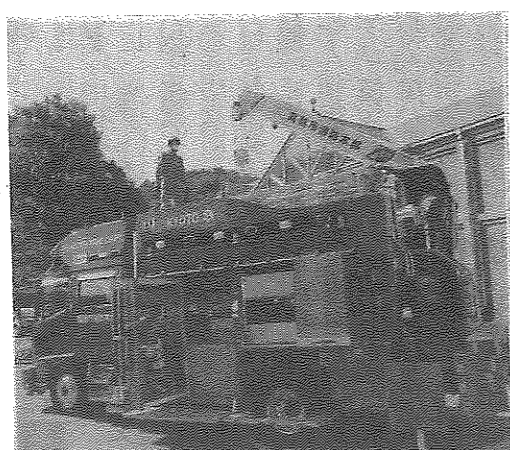
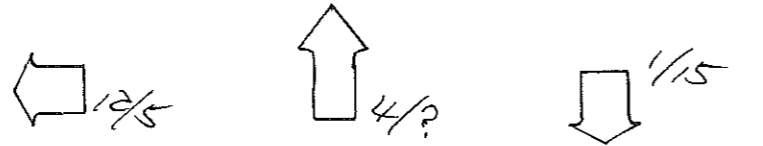
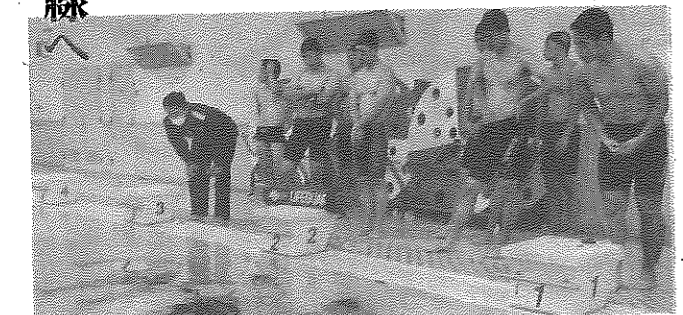
●安田清一さんが持ち帰ったスケッチブック（レプリカ）●使った絵具

第8管区海上保安本部（本部・舞鶴市）は11月26日、潜水士を志望する海上保安官の選考会を同市の海上保安学校で開いた一写真。

全国の海上保安本部ごとに選考会を開き、上位者が海上保安庁によって選抜される。8管の管内の志望者は12人で、水中で1分間呼吸を停止したり、25本の潜水、300本自由形に挑んだりした。また、グラウンドでは腹筋や懸垂、1500本走をした。

【塩田敏夫】

舞鶴・8管 保安官ら狭き門に挑む



更新された舞鶴市消防本部の救助工作車 二市提供

新救助工作車を東消防署に配備

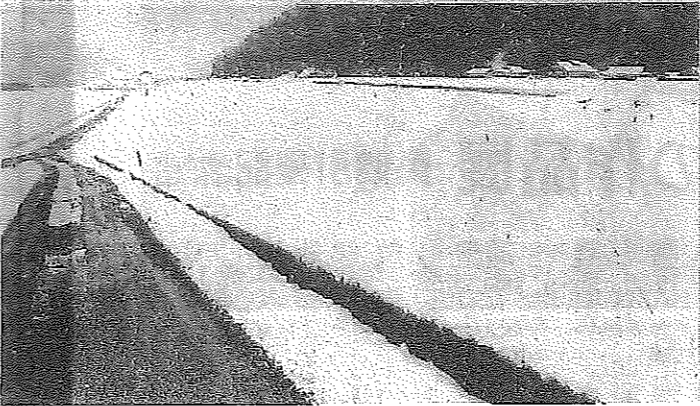
舞鶴市消防本部は、新しい救助工作車を東消防署に出張所（同市余部下）の救急救助課に配備した。これまでは使用していた救助工作車が老朽化したため、更新した。

常時5分を引けるフロントウインチャやLED照明設備などがある。交通事故時の救助や水難、山岳遭難などに対応する。購入費用は1億1715万円。【塩田敏夫】

舞鶴市域の治水対策完成

由良川

国土交通省による舞鶴市域の「由良川緊急治水対策事業」が終了し、舞鶴市志高の加佐公民館で23日、完成式があった。2013年9月の台風18号で由良川が氾濫し、洪水が発生したことを受け、10年計画で三日市、下東の2地区で堤防（集落を囲む輪中堤）を築き、計11地区で宅地のかさ上げによる治水対策を実施した。事業は福知山市側でも実施中で、22年度中に完了する予定。【塩田敏夫】



「水害被害 軽減を確信」

台風18号は1級河川の由良川の大規模な氾濫を引き起こした。福知山市役所大江支所が水没したほか、舞鶴市でも由良川沿いの加佐地区で橋や道路が不通となり、一時孤立するなど深刻な被害をもたらした。国交省によると、舞鶴、福知山、綾部、宮津の4市の被害は床上浸水1075戸、床下浸水544戸、浸水面積は2120haに上った。国交省によると、舞鶴市域の事業の対象も力を合わせ、一歩では、台風18号と04年の台風23号による洪水で「きたい」とあいつし浸水した地域。三日市地区に1140戸、下東地区に1300戸の堤防を築き、岡田由里史区長が「治水対策は地頭など11地区の計211戸の宅地かさ上げをするため、地権者との補償契約を完了させた。総事業費は430億円（福知山、綾部市側を含む）。完成式では、山下晃正副知事が「これで万全でない。これから」の言葉を述べた。



くす玉を割って緊急治水対策事業の完成を祝う山下晃正副知事（左から3人目）ら。舞鶴市志高の加佐公民館で

西舞鶴高の2人表彰



表彰状を手にする瀬野あやかさん（左）と池田りんさん。舞鶴市引士の西舞鶴高で

税に関する高校生の作文

国税庁主催の「税に関する高校生の作文」で、いすれも舞鶴市で、西舞鶴高1年、瀬野あやかさん（16）が公益財団法人納税協会連合会長賞、池田りんさん（16）が舞鶴税務署長賞にそれぞれ選ばれた。8日、同校で表彰式があった。瀬野さんは未熟児として生まれ、新生児集中治療室に搬送されたことをつづった。池田さんは「豊かな森を育てる府民税」について書き、未来のために森をつくる大切さを訴えた。

福知山市側は来年度中に

舞鶴市域の事業の対象も力を合わせ、一歩では、台風18号と04年の台風23号による洪水で「きたい」とあいつし浸水した地域。三日市地区に1140戸、下東地区に1300戸の堤防を築き、岡田由里史区長が「治水対策は地頭など11地区の計211戸の宅地かさ上げをするため、地権者との補償契約を完了させた。総事業費は430億円（福知山、綾部市側を含む）。完成式では、山下晃正副知事が「これで万全でない。これから」の言葉を述べた。

舞鶴に春呼ぶ魚

イサザ漁最盛期

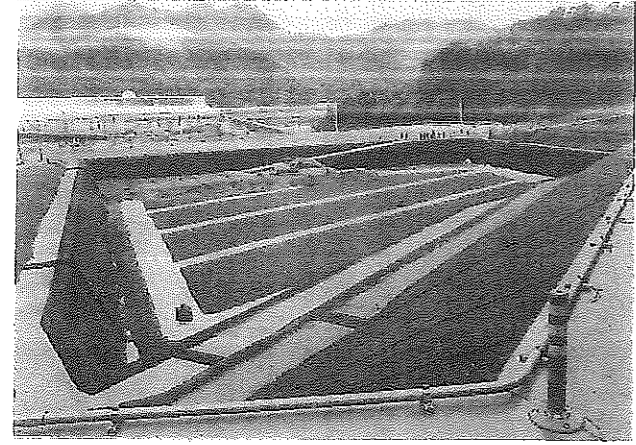
舞鶴市内を流れる伊佐津川で「イサザ漁」が最盛期を迎えている。地元で「春を呼ぶ」とされるハゼ科の魚で、シロウオを指す。体長5センチほど、産卵のため舞鶴湾から遡上している。「躍り食い」や卵とじ、唐揚げにするなどおいしいという。張り網をして籠にイサザを追い込む「もんどり漁」を40年間、続けている梅垣長治郎さん（74）の話では、漁獲量は年々減り、40年前の1割以下になってしまった。「原因はわからん。海がおかしくなってきたのだろうか」と語った。【塩田敏夫】



イサザの入った籠を手にする梅垣長治郎さん。舞鶴市の伊佐津川で

新処分場が完成

一般廃棄物埋め立て期間は15年



舞鶴市の一般廃棄物最終処分場の新しい処分場が同市大波上に完成し6日、地元の住民らが参加して式典があった。新処分場は現在の処分場の南側に隣接して建設され、埋め立て期間は15年間を見込んでいる。新処分場は1万1000平方メートル、埋め立てごみ容量は10万立方メートル。市内で発生する一般廃棄物のうち、資源化できないものを焼却、破碎した後の焼却灰や不燃ごみを処理する。現在の処分場は2010年に供用を開始したが、満杯状態になったため、3年間かけて建設。地元の大波上自治区への了解を得て、

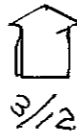
よりよき技術
すばらしい製品
印章・ゴム印
ハガキ・名刺・表札
森田印房
京・東河院精舎師南
TEL (221) 4578 (代)
FAX (221) 8149



新処分場の完成を祝い、テープカットする山本治兵衛市議会議員（左端）ら

度々発生している集中豪雨に対応するため、調整槽を増設するなど水処理能力も増強した。工事費は15億6000万円。式典では、多々見長三市長が最終処分場について「必要不可欠な都市インフラ。地元への理解と協力を感謝する」と述べた。

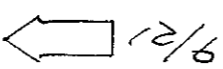
ツルいいノ舞鶴市ロゴが決まる。舞鶴市は11月30日、パンフレットやホームページに活用するロゴマークⅡ写真Ⅱが決定したと発表した。シテイブランディング事業の一環。東京都八王子市の高城豊さんの作品で、ツルが羽を広げて舞う姿を描いている。ロゴを含め右がりにしており、元気になる



3/2



12/9



12/6

完成した一般廃棄物最終処分場の新処分場
=いずれも舞鶴市大波上で